年間授業計画　新様式例

高等学校 令和６年度（３学年用） 教科　国語　科目 古典探究

教　科： 国語　　科　目： 古典探究　　単位数： 2 単位

対象学年組：第 2 学年 1,2,4,5,6,7組

使用教科書：（ 精選　古典探究（三省堂）　　）

教科　国語　　の目標：

【 知　識　及　び　技　能 】生涯にわたる社会生活に必要な国語について，その特質を理解し適切に使うことができるようにする。

【思考力、判断力、表現力等】生涯にわたる社会生活における他者との関わりの中で伝え合う力を高め，思考力や想像力を伸ばす。

【学びに向かう力、人間性等】言葉のもつ価値への認識を深めるとともに，言語感覚を磨き，我が国の言語文化の担い手としての自覚をもち，生涯にわたり国語を尊重してその能力の向上を図る態度を養う。

科目　古典探究　　の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
(1)　生涯にわたる社会生活に必要な国語の知識や技能を身に付けるとともに，　我が国の伝統的な言語文化に対する理解を深めることができるようにする。	論理的に考える力や深く共感したり豊かに想像したりする力を伸ばし，古典などを通した先人のものの見方，感じ方，考え方との関わりの中で伝え合う力を高め，自分の思いや考えを広げたり深めたりすることができるようにする。	言葉がもつ価値への認識を深めるとともに，生涯にわたって古典に親しみ自己を向上させ，我が国の言語文化の担い手としての自覚を深め，言葉を通して他者や社会に関わろうとする態度を養う。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	領域 話・聞	書	読	評価規準	知	思	態	配当時数
1学期	A単元 【知識及び技能】 ・一，二学年で学習した単語や文法に知識を確認しながら、、古文を読むための力を伸ばす。 【思考力、判断力、表現力等】 ・古典作品が持つ価値について、文脈と文化的背景に即して、本文と和歌から読み取る力を身に着けさせる。 【学びに向かう力、人間性等】 ・単語や文法の知識を自ら確認し、主体的に古文作品を読解し、現代との共通点と相違点について考える。	・指導事項 用言の活用 基本的助動詞の確認 古語の意味と用法 それらを踏まえた読解 ・教材 筒井筒（伊勢物語） ・Teamsを用いた、リフレクションシートの活用			○	【知識及び技能】 ・文章の意味が文脈の中で形成されることを理解している。 ・古典を読むために必要な文法的なきまりや、古典特有の表現などについて理解している。 【思考力・判断力・表現力】 ・自らの社会生活に根付いている国語の知識や技能から、言語文化についての考えを持ち、それを周囲に効果的に伝えている。 【学びに向かう力、人間性等】 ・進んで古典を読むために必要な文語のきまりや訓読のきまりについて理解を深め、文章の種類を踏まえて、古典特有の表現に注意して内容を的確に捉えようとしている。	○	○	○	12
	B 単元 【知識及び技能】 ・基本的な文法知識を駆使して、歴史的背景に基づいた人物造形と心情を読み取る。 【思考力、判断力、表現力等】 ・作品の叙述を読み、話の展開や面白みを理解できるよにする。 ・登場人物それぞれの、本文に明示されていない心情を判断し、表現できるようにする。 【学びに向かう力、人間性等】 ・作品を鑑賞し自らの考えを持ったうえで、他者との交流を通して学びを深めようという姿勢を身に着けさせる。	・指導事項 敬語表現の基礎 助動詞（断定、推定、尊敬、使役） 接続助詞の用法 文学史 ・教材 弓争い（大鏡） ・Teamsを用いた、リフレクションシートの活用			○	【知識及び技能】 ・文章の意味が文脈の中で形成されることを理解している。 ・古典を読むために必要な文法的なきまりや、古典特有の表現などについて理解している。 【思考力、判断力、表現力等】 ・文章の内容や構成、展開などについて叙述を基に的確に捉えている。 【学びに向かう力、人間性等】 ・文法や古語の知識を元に、主体的に本文を読み、登場人物の立場と心情の関係についての意見を形成し、歴史的背景の中に位置づけられている。	○	○	○	15
2学期	C 単元 【知識及び技能】 ・助動詞や敬語について、これまでに学んだ内容を踏まえて、本文を自分で読解できるようにする。 【思考力、判断力、表現力等】 ・作品の叙述を読み、話の展開や面白みを理解した上で、その内容を自分で表現できるようにする。 ・やや複雑な物語展開について、論理的に理解できるようにする。 【学びに向かう力、人間性等】 ・作品を鑑賞し自らの考えを持ったうえで、他者との交流を通して学びを深めようという姿勢を身に着けさせる。	・指導事項 敬語表現の実践、助動詞の実践。 接続助詞、副助詞、終助詞。和歌の読解。 ・教材 明石の君の苦悩（源氏物語　薄雲） 萩の上露（源氏物語　御法） ・一人１台端末の活用　等 Teamsを用いた、リフレクションシートの活用			○	【知識及び技能】 ・これまで学んだ文法、古語、文化的背景の知識を読解に応用できている。 【思考力、判断力、表現力等】 ・文章の内容や構成、展開などについて叙述を基に的確に捉えている。登場人物の心情と和歌の関係を理解できている。 【学びに向かう力、人間性等】 ・文法・古語・和歌の知識を自ら判断して、読解に応用できている。 ・登場人物の心情を主体的に読み取り、現代に通じる普遍的問題として捉えられている。	○	○	○	12
	D 単元 【知識及び技能】 ・助動詞や和歌について、これまでに学んだ内容を踏まえて、本文を自分で読解できるようにする。 【思考力、判断力、表現力等】 ・作品の叙述を読み、話の展開や作者の心情を理解した上で、その内容を自分で表現できるようにする。 【学びに向かう力、人間性等】 ・作品を鑑賞し自らの考えを持ったうえで、他者との交流を通して学びを深めようという姿勢を身に着けさせる。	・指導事項 助動詞の実践。接続助詞、終助詞、副助詞。 和歌の技法（掛詞、縁語）と読解。和歌と作者の心情の関係。 ・教材 うつろひたる菊（蜻蛉日記） 鷹を放つ（蜻蛉日記） ・一人１台端末の活用　等 Teamsを用いた、リフレクションシートの活用			○	【知識及び技能】 ・これまで学んだ文法、古語、文化的背景の知識を読解に応用できている。 【思考力、判断力、表現力等】 ・文章の内容や構成、展開などについて叙述を基に的確に捉えている。作者や登場人物の心情と和歌の関係を理解できている。 【学びに向かう力、人間性等】 ・文法・古語・和歌の知識を自ら判断して、読解に応用できている。 ・作者の心情を主体的に読み取り、現代に通じる普遍的問題として捉えられている。	○	○	○	15

3学期	E 単元 【知識及び技能】 ・助動詞や和歌について、これまでに学んだ内容を踏まえて、本文を自分で読解できるようにする。 【思考力、判断力、表現力等】 ・作品の叙述を読み、話の展開と筆者の主張を理解した上で、その内容を自分で表現できるようにする。 【学びに向かう力、人間性等】 ・作品を鑑賞し自らの考えを持ったうえで、他者との交流を通して学びを深めようという姿勢を身に着けさせる。	・指導事項 助動詞、助詞の実践。和歌の読解。歌論・俳論における論理展開。 ・教材 無名抄、去来抄 ・一人１台端末の活用　等 Teamsを用いた、リフレクションシートの活用				【知識及び技能】 ・これまで学んだ文法、古語、文化的背景の知識を読解に応用できている。俳諧について理解している。 【思考力、判断力、表現力等】 ・文章の内容や構成、展開などについて叙述を基に的確に捉えている。論理展開に即して、作者の主張を理解できている。 【学びに向かう力、人間性等】 ・文法・古語・和歌の知識を自ら判断して、読解に応用できている。 ・作者の主張を主体的に判断・表現した上で、他者との交流を通して読みを深めている。	○	○	○	16
										合計 70